

大館市本庁舎建設基本計画(案)に対する パブリックコメントの実施結果について

○ 実施概要

1. 意見募集の対象

「大館市本庁舎建設基本計画（案）」

2. 意見募集の期間

平成27年12月1日（火） ～ 12月25日（金）

3. 公開の方法

- ・市役所総務課新庁舎建設推進室、比内総合支所総務係、田代総合支所市民生活係、市役所各出張所で閲覧
- ・市ホームページに本編、概要版を掲載
- ・広報おおだて「本庁舎建設基本計画特集号」を発行

4. 意見の提出方法

- ・直接提出
- ・郵送
- ・ファクシミリ
- ・電子メール

○ 意見募集の結果

1. 意見の件数

- ・意見を寄せた人数 66人
- ・意見の数 143件（要旨の数）

2. 提出方法

- ・持参19人
 - ・郵送29人
 - ・ファクシミリ12人
 - ・電子メール6人
- 計 66人

現在の市役所本庁舎は、西側庁舎が昭和29年に建築（築後61年を経過）、東側庁舎が昭和51年に増築（築後39年経過）されており、平成21、22年度に実施した耐震診断では、耐震性が著しく不足しているとの結果が出ました。

その後、平成23年3月11日の東日本大震災の発生を受けて、耐震強度が低く経年による老朽化が著しい現在の本庁舎では、想定を超える大地震に見舞われた場合、庁舎としての機能を維持し、市民や職員の安全を確保しながら防災拠点としての機能を果たすことは困難であるため、庁舎建設について検討を重ねてきました。

平成24年8月から、学識経験者や関係機関の代表者、公募市民等で構成する「大館市本庁舎建設検討委員会」（委員13人）で、新庁舎建設の必要性、建設候補地、新庁舎の規模、機能等について審議いただき、「新庁舎を建設することが必要で、建設候補地は現本庁舎敷地及びその周辺敷地が適当である」「分散している本庁機能の集約を図るべき」「建設の財源は合併特例債を活用すべき」とする内容の答申が平成25年3月に市長へ提出されました。

平成25年6月には、市議会に「本庁舎建設に関する特別委員会」（委員10人）が設置され、本庁舎の建設候補地や規模、機能等に関し、協議、調査が行われてきました。

本市では、検討委員会の答申や特別委員会での審議を踏まえ、平成27年2月に「大館市本庁舎建設基本構想」を策定し、庁内横断組織での検討や市議会での審議を経ながら、このたび、基本構想をより具体化した「大館市本庁舎建設基本計画（案）」を作成し、基本計画（案）に対する市民の皆様のご意見等をお伺いするパブリックコメントを実施しました。

その結果、66人の方からご意見をいただき、提出されたご意見と大館市の考え方は次のとおりです。

なお、提出いただいたご意見は、趣旨を損なわない程度に要約しており、今回の計画と直接関係のないものについては、市の考え方は示しておりません。

いただいたご意見と大館市の考え方

「第1章 基本計画の背景と目的」に関すること

No.	頁	ご意見	市の考え
1	1	<p>合併特例債のためタイムリミット。新規は望まない。歴史まちづくりが急に庁舎建設に入り込んできたが、市長が変わったからと基本方針が大きく変わるようでは困る。</p>	<p>平成27年2月策定の「本庁舎建設基本構想」で、本庁舎の建設候補地を「現本庁舎敷地及びその周辺敷地」とし、「現在の市民体育館周辺」を建設場所の第一候補地としながら、基本計画策定の中で検証及び検討することにしていました。</p> <p>その後、市民及び議会のご理解をいただきながら、主要な施策として歴史的風致維持向上計画の策定に取り組む方針とした中で、本庁舎建設に関するこれまでの議論の積み重ねと、歴史まちづくりの取り組みを進める上で将来の桂城公園の整備拡張を考慮した結果、「現本庁舎敷地及びその周辺敷地」である裁判所裏側の「現庁舎東側駐車場周辺」を建設想定エリアとしました。</p>
2	1	<p>大館市の人口減少予測と、2020年以降の著しい税収減収予測の中で市庁舎の建設はあらためて考えていくべきではないか。</p> <p>市役所の分所を各地の小学校跡地につくる。駅舎の改築とともに市庁舎の一部機能を駅舎にも併設し、市民も使用できるよう多機能型のバリアフリーにしていきたい。</p>	<p>耐震性の不備、施設・設備の老朽化、部署の分散、狭隘、バリアフリーへの対応など現庁舎が抱える諸課題の抜本的な解消、さらには市の財政負担の軽減や財政運営への影響といった様々な観点から検討した結果、国の支援（合併特例債）が受けられる今の時期（平成32年度末まで）に、将来の人口減少を十分考慮した規模で新庁舎を建設することが最良であると考えています。</p> <p>分所については、比内、田代総合支所、9か所の出張所、いとくショッピングセンター内の市民サービスセンターなどを維持していきます。</p>

3	1	<p>意見募集について、基本計画を作成する前に市民に聴問すべきであってあまりにも市独断すぎるのではないか。意見書は意味がないと思う。大館市の財政が逼迫しつつある時に、あえて何億という金を市庁舎に投資して大館市の発展は期待できないと思う。少子高齢化に拍車がかかっている時世であり、福祉関係に税負担が大きいのしかかって来ている。このようなことを考慮すると新庁舎を建設することは反対する。</p> <p>公園内に庁舎を建設することは、公園の美化がことごとく悪くなり、先ず、公園を存続するとなると、公園内の大きな建物（市民体育館・武道館・プール）は、撤去すべきであり、公園らしくしたら良いと思う。</p>	<p>本庁舎建設については、平成24年8月に外部の有識者や関係機関の代表者、公募の市民などで構成する「大館市本庁舎建設検討委員会」を設置し、本庁舎建設の必要性から白紙で検討していただき、25年3月に「本庁舎は全面新築すべき」「建設候補地は現本庁舎敷地及びその周辺敷地」との答申をいただきました。</p> <p>25年6月には、市議会に「本庁舎建設に関する特別委員会」が設置され、本庁舎の建設場所や機能、規模等について、延べ18回にわたり協議していただきました。</p> <p>本庁舎建設の検討状況については、これまで広報おおだてや市ホームページ、地元紙等を通じて逐次お知らせするとともに、基本構想策定の際はパブリックコメントを実施して市民の皆様のご意見をお聞きしてきました。</p> <p>このような過程を経て、今回「本庁舎建設基本計画(案)」を作成したところであり、今後も、市民の皆様のご理解が得られるよう、事業進捗に応じてご意見をお聞きしながら進めてまいります。</p>
4	1	<p>市庁舎が古い、新しいというのは2次的なことで庁舎をどこに置いて、どう機能させるのが一番ベストかを考えるべきではないか。市街地活性化と声高に叫びながら、何も手を打つことをしていない現状で、大町を中心とした旧商店街の衰退は目を覆うばかりだ。これでもし庁舎が他の地区に移転という事にでもなれば、大館市全体が壊れてしまう。もう一度、腰を据えて、足元を見直すことから始めてはどうか。</p>	<p>中心市街地の活性化策については、これまでに策定した都市計画マスタープラン、中心街区再生推進会議での検討結果等を踏まえ、いただいたご意見を参考としながら効果的な施策を講じてまいります。</p> <p>市民生活に密接に関わる行政機能が集中する市役所本庁舎は、他の行政機関や病院、市営住宅等が立地する現在地周辺に建設することがコンパクトシティ推進の点からも最良と考えています。</p>
5	1	<p>要求が詳細に記載されているが、重要な項目の順位付けを行い、整理した方がよい。</p> <p>目的・目標に関しても理想で述べられていると感じる。利便性や将来性から見て現実的な内容なのか精査する必要がある。</p> <p>文章が長い、書類が多いと一見素晴らしく見えるが、全体像が曖昧になるため、多くの市民が判断しやすいように、シンプルに作成すべき。</p>	<p>本基本計画案は、本庁舎建設に関するこれまでの検討経緯を踏まえて、現庁舎の課題や問題点を整理し、市民サービスを行っていく上で求められる機能などを検討し作成しました。</p> <p>将来の人口に見合った規模の建物で、防災拠点機能を果たしながら、市民の皆様により便利になったと実感していただけるような様々な目標を設定したところであり、今後の設計の指針となるよう細部にわたり記載した箇所もあります。</p> <p>本基本計画の確定版を公表する際には、わかりやすくまとめた概要版を市広報やホームページに掲載することとします。</p>

「第2章 新庁舎の機能」に関すること

① 防災拠点として市民の安全・安心を確保した庁舎

No.	頁	ご意見	市の考え
6	10	防災拠点としての機能（ハード、ソフト面）は勿論だが、拠点といわれるように、各地域の連携するシステムも合わせて考えてほしい。	本庁舎建設において災害対策本部機能の充実を目指すことと併せて、国、県、消防本部等の防災関係機関とのシステム面を含む緊密な連携体制を維持します。 災害時の情報収集、情報伝達については、大館市地域防災計画に基づき、警察、消防、自主防災組織のリーダー等を通じて市の災害対策本部に集約した情報を、あらゆる情報通信手段を活用しながら、町内会長等への電話連絡、戸別訪問、広報車等による広報等、複数の方法で情報伝達を行ってまいります。
7	10	一時避難場所は住宅に近い方がよい。立地条件から他の施設を分散整備した方がよい。	災害時の避難場所は、大館市地域防災計画で地域ごとに指定しています。 本庁舎の市民ホール等の一時避難スペースとは、指定した避難所へ避難していただくまでの間の一時的な利用を想定しています。

② 市民サービスの向上が図られる効率的な庁舎

No.	頁	ご意見	市の考え
8	13	計画（案）にプライバシーを守ることでの仕切りをと書いていたので安心してはいるが、同時に職員の方の気配りも考えてほしい。	窓口には、カウンターへ仕切りを設置し、相談内容に応じて半個室型カウンター又は相談室を利用するなど、職員対応も含めプライバシー保護に配慮します。
9	13	市民と市の職員が向き合うとき、イスを用意するなど目線の高さが同じになるようにしてほしい。上から見下ろされているようで威圧感を覚える。また、各部署に狭くてもよいので椅子とテーブルを用意してほしい。	受付や相談窓口は、着座のうえ手続き等をしていただけるようカウンターやイス、テーブルの配置とスペース確保に配慮します。
10	13	総合案内の場所を設けるといことだが、大変良いので実施していただきたい。	総合案内係は、来庁者がより早く目的の窓口に行けるように用件をお聞きし、担当部署をお知らせするなどします。
11	13	市民生活に密着する「市民窓口」を1階にコンパクトに集約する案は、大変よいと思う。	多くの市民が訪れる窓口はできるだけ1階に集約し、来庁者の移動の負担を可能な限り少なくする計画です。
12	13	窓口は、ピーク時に合わせて作ると無駄。臨時カウンターなど設けて対応するのが良い。ハードよりソフトの対応を望む。EVとコンシェルジュがあれば階層が分離されても便利に利用可。	市民サービス窓口については、無駄のない配置とします。

③ 市民に親しまれる開かれた庁舎

○ 市民交流空間

No.	頁	ご意見	市の考え	
13	17	庁舎の一部を例えば歴史的な展示場にするなどの構想があればベターだ。	新庁舎には、休憩や展示など、市民や団体が自由に利用できる場としての市民ホールや多目的スペースを計画しています。	
14	17	市役所に用事のない人でも使えるトイレや休憩に立寄れるスペースを作り、市の地図、土産品、絵、花などを飾って、市民と、そして、市民以外の人も、気持ち良く使えるような市役所にしてほしい。		
15	17	高齢者が行きやすい市役所にするために、市役所内に休憩スペースを設置する。		
16	17	大学生から、授業後みんなと過ごせる場所が大館に無いという言葉が出ている。市庁舎には、そういうホール機能がほしいし、その周辺にカフェや商店があるのがお互いの効果を生むので、それが可能なエリアに市庁舎を。そして、桂城公園を中途半端な公園にしないように、見直しをお願いする。		
17	17	市民交流スペースでのイベント企画してほしい。		
18	17	鹿角市役所の作りで建て直してほしい。		
19	17	市民の皆さんの力作を展示できるスペースが新庁舎の中にあればいいと思う。個室でなくても、通路とかでも飾れる作りになっていけばいろいろな活用が考えられると思う。		
20	17	FM秋田のサテライトスタジオを、庁舎入口ロビー等の公開放送（収録）に適した場所に設置することを提案する。災害時と平常時のどちらでも大館の情報を有効に発信することが可能であるため。		
21	17	コンビニ型庁舎がよいと考える。災害や急な病院の利用時、高齢者にとって利用しやすくした上で24時間の利用可能にする。就業時間をずらすことで人件費を減らすことは可能だ。気を使うことなく自由に時間を気にせず利用できる、困った時こそ力になってほしい。		市民ホール等の多目的利用、市民交流及び情報発信機能について検討していく中で、ご意見を参考とさせていただきます。
				戸籍届出に関する事務の一部や災害時の対応など24時間体制で行っているものもありますが、すべての窓口を終日開設することについては、費用に見合うだけのニーズがあるかさらに調査が必要と考えます。

22	17	新庁舎内にコンビニエンスストアとコーヒーショップを併設してほしい。	店舗設置に関する諸課題について、今後検討してまいります。
23	17	市庁舎の最上階は展望台として常に市民に開放し、上からも大館市を眺められる庁舎建設を願う。市民だけでなく、他市町村からの観光客も癒しと安らぎを感じる市ができると思う。	展望施設等に関するご意見について、設計等の参考とさせていただきます。
24	17	市民が誇りを持つ庁舎、隣接桂城公園（大館城址）や市街地を望む、展望施設（できればラウンジも）があればと思う。	
25	17	せっかくの景観を楽しめるような提案があってもよい。	
26	17	駐車場と公園の堀との間に花壇を作ることにはできないものか。	
27	17	周辺イベントに観光客が来た時、使用できるように、女性トイレは個室10個は作ってほしい。土、日でもトイレや、休憩スペースが使えるように設計してほしい。	トイレの設置基数については、適正な配置を検討します。 桂城公園来園者等の休日利用も可能となるよう検討を進めてまいります。

○ ユニバーサルデザイン

No.	頁	ご意見	市の考え
28	19	どこの係にも身体の不自由な方々と高齢者が利用しやすい庁舎をお願いします。 また、駐車場は現在よりも少し広いスペースをお願いします。	一般駐車場のほか高齢者、車いすを利用している方、妊婦、乳幼児連れの方などが利用できる専用駐車場を設置する計画としています。 庁舎内においても、高齢者に限らず、すべての方が不自由なく利用できる設計とします。
29	19	ユニバーサルデザインで全てが進むという事を忘れないで。	
30	19	中央フロアに関してスペースを広くとっていただきたいと思う。お年寄りや車イスの方などが記入や質問、移動など楽に行える様に通路も広く明るくというのが願いだ。高齢化の進むこの街の中で率先して”おもいやり”を発信できる場となるように望む。	
31	19	新しい市役所にキッズスペースを必ず作ってほしい。鹿角市花輪の文化の杜交流館、コモッセの1階に、「こども未来センター」という大変良い手本がある。お母さんとこども専用の部屋で授乳室、オムツ交換の部屋がある。	新庁舎には、子育て支援スペース（授乳室やキッズスペース等）を配置する計画としています。子ども連れの方が不便なく利用できるよう配慮します。

④ 環境に配慮した庁舎

No.	頁	ご意見	市の考え
32	22	ムダのない明るい庁舎を希望する。	自然採光や自然通風を十分確保するとともに、LED等の高効率照明を導入する計画としています。 詳細は、今後の基本設計にて設備方式の具体的な比較検討を行い、経済的で環境にやさしい設備の導入を検討します。
33	22	照明装置にLEDを取り付けて、明るい庁舎にしてほしい。	
34	22	職員優先（暖・冷房等）の庁舎はよくよく考えてほしい。 あくまでも足を運んでいく市民のことを最優先にした庁舎になることを望む。	

⑤ まちづくりと連動した庁舎

No.	頁	ご意見	市の考え
35	25	まちづくりの面から見てもこの提案は、良い方向に向かう気がした。	庁舎建設想定エリア付近には、主要な行政機関、市立総合病院などの医療機関、市営住宅、商業施設などがあり、新庁舎は、コンパクトシティの核となる施設づくりを目指します。 隣接する桂城公園の景観に配慮しながら一体的な整備を計画しています。

⑥ 市民が誇りを持てる庁舎

No.	頁	ご意見	市の考え
36	26	当分は立て直し出来ない市庁舎、どうせなら皆が見学に行きたいと思える様な立派な庁舎に頑張ってもらいたい。	市の財政負担を極力抑え、華美にならずコンパクトで機能的な庁舎を目指します。
37	26	城下町に相応しい外観を望む。窓口カウンターと同様トイレまでも心配りが感じられるホテル並みのおもてなしを感じられたら自慢が出来、名物の仲間入りできると思う。ずっと、長く、人の目を引く建物である事を切に願います。	
38	26	新庁舎には現本庁舎と同様、階段は「らせん階段」を設置してほしい。	いただいたご意見について、今後の設計等の参考とさせていただきます。

⑦ 分庁舎を利活用し、将来の機能集約や機構改革等にも対応できる庁舎

No.	頁	ご意見	市の考え
39	28	議会を扇田（比内庁舎）に持って行って元の比内町役場の議事堂を使う等考えてもいいのでは。	議場などの議会機能を比内庁舎に置くことについては、議会開会時（年4回の定例会及び臨時会など）に、市長以下相当数の市職員が本庁舎を不在にするための危機管理上の懸念や、市民や団体の代表者等が市長と市議会議長の双方と面会する際にご不便をおかけすることなどを総合的に考慮、検討した結果、市長事務部局と議会はともに新庁舎に配置されるべきと判断し、比内庁舎の議場を利用する計画策定には至りませんでした。
40	28	比内庁舎を何度も訪れたことがあるが、もっと活用すべきだと思う。議員定数も人口減による削減を考えると、比内の議場で十分だ。	新庁舎の議場は、議会開会時以外はこれまでと同様に市のすべての部局で会議スペース等として最大限利用する計画で、それによって庁舎の全体面積を可能な限り縮小した事業計画としています。
41	28	市議会議場は比内支所内の旧比内町議会議場を使えばいいと思う。長らく使ってなかったのがこの際、再利用したりこのような手法にしたなら税金の無駄にならずに済む。	新庁舎の議場は、議会開会時以外はこれまでと同様に市のすべての部局で会議スペース等として最大限利用する計画で、それによって庁舎の全体面積を可能な限り縮小した事業計画としています。
42	28	比内の庁舎の返済金もまだ残っていると思う。最大限比内の庁舎を使用してほしい。	平成9年建築の比内庁舎については、新庁舎完成後も平成52年度までの可能な期間、比内総合支所のほかに、建設部（土木、都市計画、水道、下水道の各課）などを配置する計画で、比内、田代庁舎を可能な限り利用することで、新庁舎に必要な面積を抑制した事業計画にしています。
43	28	田代支所の将来は、旧岩野目小の活用等は考えられないか。	昭和53年建築の田代庁舎については、新庁舎完成後も平成52年度までの可能な期間、田代総合支所のほかに、教育委員会（教育総務課、学校教育課、スポーツ振興室など）を配置する計画で、比内、田代庁舎を可能な限り利用することで、新庁舎に必要な面積を抑制した事業計画にしています。 いただいたご意見は、田代地区の公共施設の利活用を検討する際の参考とさせていただきます。
44	28	旧田代町役場については、教育委員会を移転せずに現状維持でいいと思う。旧比内町役場については、「比内図書館」と「比内公民館」を移転させればいいと思う。三ノ丸庁舎は、建物の老朽化が著しいので、直ちに解体して、職員用の駐車場として整備をすればいいと思う。	現在分散し市民の皆様にご不便をおかけしている市の窓口を集約するため、田代庁舎の教育委員会や比内庁舎の建設部は平成52年度までに本庁舎に移行する計画としています。 将来の比内庁舎の利活用に対するご意見については、今後の参考とさせていただきます。 三ノ丸庁舎については、書庫及び倉庫としての利用や近隣のローズガーデン及び秋田犬会館の駐車場としての利用を検討してまいります。

⑧ その他の機能について

○ 高度情報化への対応と防犯機能

No.	頁	ご意見	市の考え
45	30	庁舎内には、フロア全体でWi-Fiを使えるようにしてほしい。	庁舎内の広い範囲でWi-Fiを使用できるようにICT環境の整備に努めます。

○ 行政機能

No.	頁	ご意見	市の考え
46	32	市長室の風呂は不要。	浴室設置の予定はありません。

○ 議会機能

No.	頁	ご意見	市の考え
47	33	市議会の議場について、市民が気軽に議会を傍聴できるようにしてもらいたい。3階以上につくるのであればエレベーターを設置してほしい。	エレベーターの設置を基本とし、誰もが気軽に議会を傍聴できるよう設計に配慮します。
48	33	議会図書室などは、現在の市立図書館を充実させ利用していくのもいいと思う。	議員の調査研究に資するため、議場に近接する室に設置（併設を含む）することを検討しています。

「第4章 新庁舎の建築計画」に関すること

1. 新庁舎の規模

○ 部署集約

No.	頁	ご意見	市の考え
49	41	新本庁舎建設を心待ちにしていた。現状では各課が離れていたり、別の場所にあったりと何をするにも移動しなければならず大変だ。	市の窓口が各庁舎に分散し、市民の皆様にたいへんご不便をおかけしている状況を解消するため、本庁舎の建設により本庁機能の集約を図りたいと考えています。
50	41	分庁舎の利活用は分かるが、現在不便をきたしているので集約しようとしているのに、平成52年の集約ではいかがなものか。不便と職員のロスを考えて教育委員会、建設部は即集約すべき。分庁舎にお金をかけないで基本は新庁舎への集約と思う。	総合支所以外のすべての部署を最初から本庁舎に集約すべきというご意見もありますが、将来の人口減少を推計しながら、現在ある分庁舎で利活用できるものは可能な限り利活用し、平成52年度までの全部署の集約を目指して、面積と事業費をできるだけ抑えることとしています。
51	41	すべての業務を一ヶ所に集中させてほしいと思う。その用事によって田代や比内に行くのは不便だ。	建設部や教育委員会など、新庁舎開庁時には集約できない部署もありますが、本計画では、分散している福祉部と産業部を新庁舎に移行し、市民の皆様の利用頻度の高い窓口サービス部門は新庁舎の1階にまとめて配置するなど、市民の皆様のご不便の解消と現在及び将来の財政負担の軽減を図りたいと考えています。
52	41	保健センター（健康課）を総合福祉センター内に移転するのは良い事だと思う。そこで、福祉部の他の課も新庁舎に移転せずに、総合福祉センターと保健センターの機能を一体化した建物にリニューアルした上で、福祉部の庁舎として使用すればいいと思う。	
53	41	どうせ建てるなら大きいのを建て、各課が統合するべきだと思う。今現在、土木課は比内、教育課は田代に行かないと用事をすませない現状だ。その不便さを考えて見てはと思う。	
54	41	庁舎別職員配置予想の平成52年度の職員数のうつり変わりを見たところ、本庁舎にほとんどが移動していて、各部も集まるようなので、機能の改善が見えた。便利になり市民の全体が使いやすいものになるのはとても良いと思う。	

○ 新庁舎の規模

No.	頁	ご意見	市の考え
55	44	あの狭くらしい所で仕事をしている職員のためにも、早く決断してもらいたい。	<p>新庁舎の規模は、今後の人口減少を見据え、平成52年度（約25年後）に想定される職員数に対応した規模としております。</p> <p>想定される職員数に対し標準的な必要面積の算定をすると、延床面積は約9,000㎡ですが、本市は分庁舎の利活用を図りながら事業費を抑制するため概ね7,000㎡としています。</p> <p>市民サービスの向上のために本庁機能の集約は重要ですが、段階的な集約とすることでコンパクトで効率的な庁舎を目指します。</p>
56	44	庁舎の規模を可能な限り簡素に小さく作るべき。減少都市は必然であり、立派さを誇るべきでない。	
57	44	庁舎はできる限りコンパクトな施設にしてもらいたい。一般市民は電話、インターネット、支所、出張所で十分用件が済む。本所へ直接行って職員と対話しなければならない利用はほんの一部に過ぎない。	
58	44	人口減少が進んでいる当市は、立派な庁舎を建てるのも大切だろうが、建設費を少なくするコンパクトな庁舎を考えてほしい。孫代まで使える建物も必要であると同時に借金をあまり残さない様に努力する事も大切だ。	
59	44	本庁舎の桂城公園への新築には反対しないが、計画をコンパクトにし、現行で使用できる施設を最大限活用すべき。建設費が圧縮できた分は、例えば大町、御成町活性化の起爆剤となる施設に投資するとか未来の大館を支える子ども達に投資するとかは考えられないか。	
60	44	大館を象徴するような建物を目指してほしいので、7,000㎡という面積でもやれることは多くあると思う。広いスペースは個人的にほしい。ガラス張りにして吹き抜けも大きくあったら、採光の面では確保されると考える。	

2. 建設場所・敷地利用計画

○ 現庁舎東側駐車場周辺(配置計画案で示した場所)

No.	頁	ご意見	市の考え
61	46	新庁舎想定エリア案賛成。できるだけ高層化して敷地内に収まるように(エレベーター設ける)。正面玄関は公園側に。	平成27年2月策定の「本庁舎建設基本構想」において、新庁舎の建設候補地を「現本庁舎敷地及びその周辺敷地」としました。その中で、将来の桂城公園の整備拡張時の影響が少なく、建設工事、発掘調査等を実施する際の仮庁舎使用に伴う改修や移転等の費用を最小限に抑えることができる、裁判所裏側の「現庁舎東側駐車場周辺」を新庁舎建設想定エリアとしました。 基本計画(案)の配置計画例は、今後の設計プロポーザルで様々な工夫や技術提案を求める際の基礎資料としての大まかなものであり、採光・歩車動線・敷地利用・公園とのつながり等、具体的な内容はその後の設計の段階でさらに詳細な検討を加えた上で決定していく予定です。
62	46	新庁舎が「現庁舎東側駐車場周辺」と決まりそうなのでよかったと思う。公園が広くなるときは、樹木の手入れはきちんとするのを願う。	
63	46	現在、市が提案している位置が最も望ましいと思う。弘前の様に城址をバックアップされたい。	
64	46	今の想定通りの場所にたてていただきたい。	
65	46	そこにぜひ建てていただきたい。	
66	46	「現庁舎東側駐車場周辺」は妥当な場所だと思う。やはり当市は桂城のあった場所に庁舎があるべき。市民がこぞって、庁舎のある方に心の寄りどころを求めるべき。	
67	46	大館市役所本庁舎は想定通り裁判所裏側が望ましいと思う。国道7号線近くであり秋田市からの交通もいいと思う。郵便局等主要な施設が集まった場所なので便利だ。	
68	46	慣れ親しんだ場所なので裁判所裏側で願います。	
69	46	場所は原案で妥協するが、公園から離れる努力を企むべき。歴史まちづくりの基本的地盤として公園は、大館城址であることを踏まえること。	
70	46	1Fに配置される市民が最も利用する場所が暗くならないか。(位置を十分考慮されたらと思う)	
71	46	狭い所へ追いやられた感はぬぐえない。駐車場から本庁への道幅が狭く感じる。	

○ 現在の本庁舎の位置

No.	頁	ご意見	市の考え
72	—	「基本計画(案)」の敷地利用計画では、建設場所が裁判所裏側となっているが、裁判所正面から見ると新庁舎はかくれてしまう。見えるのは西側からで庁舎の側面部分となる。建設場所は現庁舎の跡に建てるべきではないかと考える。これから40年50年と敷地の奥においやられた庁舎でよいのか、再検討することはできないか。	現在の本庁舎の敷地に建設する場合、現本庁舎の解体から新庁舎の完成までの期間（5年程度）使用する仮庁舎が必要になり、多額の仮庁舎建設（既存施設の改修、リースなどの方法を含む）費用が発生します。このため、本庁舎建設検討の初期段階から、仮庁舎を設けず、新庁舎完成まで現庁舎を使用し、その後解体できる計画を目指してきました。
73	—	新庁舎エリア、公園拡大エリアの一部を合わせて駐車場にすればどうか。新庁舎は現庁舎の敷地に建設するのが良いと考える。市役所は大館市の顔。表にいたってはならない。	
74	—	病院、福祉事務所、郵便局、銀行、文化会館が近いことなど考えれば現庁舎と同じ場所がよい。	
75	—	現在地にての継続をお願いします。	
76	—	やはり、市役所は今の場所にあって欲しい。市民が集う桂城公園のそばに。庁舎が移転するとなると、その周辺の商店街も益々寂しくなると思う。いろんな意見があると思うが、自分は、この城下にずっとあってほしい。	
77	—	新庁舎は西側の古い庁舎は修復と補修して残すべきだ。東側の比較的新しい庁舎は解体して西側の古い庁舎と同じデザインで増築改装はどうか？全て壊して一から建て直せば税金の無駄にもなるし大館市の歴史も壊す事になる。古い庁舎には螺旋階段もあり素晴らしいデザインなので歴史的価値があると思う。 かつて大館市は大火があり古い物は壊すというのを繰り返してきた。市長が歴史のまちを公約に掲げるなら市役所庁舎は古い庁舎を生かして増築改装すべきと考える。	
			昭和29年建築の西側庁舎は耐震性が著しく低い状態で、経年により内外装、配管、設備類の劣化が進んでいるほか、エレベーターがなくバリアフリー対応のトイレも十分配置できていません。 大地震への備え、老朽化、バリアフリーになっていない、狭隘、窓口の分散など現庁舎が抱える課題の抜本的な解消など様々な観点から検討した結果、現庁舎の増改築よりも新庁舎を建設することが最良と考えています。

○ 桂城公園内

No.	頁	ご意見	市の考え
78	—	新庁舎の位置は、体育館及び武道館の建設以前のお堀を復元し、その北側公園内に建設する。	平成27年2月策定の「本庁舎建設基本構想」で、本庁舎の建設候補地を「現本庁舎敷地及びその周辺敷地」とし、「現在の市民体育館周辺」を建設場所の第一候補地としながら、基本計画策定の中で検証及び検討することにしていました。その後、歴史的風致維持向上計画の策定に取り組む方針とした中で、将来の桂城公園の整備拡張を考慮した結果、裁判所裏側の「現庁舎東側駐車場周辺」を建設想定エリアとしました。

○ 高校跡地の利用

No.	頁	ご意見	市の考え
79	—	市庁舎は、廃校（大館高校、桂高校）をリフォームして活用し、税金の無駄をなくしたらよいと思う。そのために、部門を分散し、職員も削減したらどうか。	統合予定の県立大館高等学校の校舎と跡地は、平成28年4月から大館鳳鳴高等学校の定時制過程・桜楯館の校舎として利用されることになっています。
80	—	新庁舎、大館高校跡地利用はいかがか。法務局も向かいにあり利便性も良いと考える。敷地も面積的にあり、不足時は周囲に空地等がある。	県立大館桂高等学校については、運動場敷地等を今後も使用することが決定しており、校舎は、築後40年が経過し、耐震補強工事は実施しているものの老朽化のため、多額の改修費用等が必要になると想定されます。
81	—	大館高校について残った校舎と土地。校舎を改築し市役所に、校庭を駐車場にしてはどうか。法務局も近くにあり、利用価値もあるのではないか。	
82	—	庁舎建設場所は、大館高校を県から譲り受け、既存改装＋必要な部分を増築して、借金を極力増やさないでいただきたい。庁舎のデザインに誇りを求める気持ちは良くわかるが、市民生活上は機能があればよいはず。	
83	—	新庁舎の建設場所は、大館高校の跡地、又は大館駅前の大開発そして新庁舎を建てる。若しくは、イオンスーパーの向いの田んぼに建て、庁舎玄関前をロータリーにして大型バスが回れるように。駐車台数は1,000台。	

○ 旧正札竹村跡地

No.	頁	ご意見	市の考え
84	—	<p>旧正札竹村ビルの解体工事を早急に行い、大館市役所の建設場所は、大町旧正札ビル周辺（立体駐車場、中町パーキング、ハチ公プラザなど）エリア。地域の駐車場、商店、飲食街、住宅、公園（高齢者、若者、園児共有整備）等の環境整備することで、大館市の将来の繁栄、中心街の再生が図られる。また、防災、経済、産業、観光、地域市民サービスには、欠かせない候補地である。歴史的資源の案内板、歴史的建築物の由來說明板を早急に作成設置することで、市民の歴史的財産、観光への意欲向上が図られる。現在の大館市役所跡は、大館城（浅利氏と小場義成の功績と遺産）中心に大館市郷土博物館を移設、歴代偉人の伝承館と観光を面に置く。</p>	<p>旧正札竹村敷地は、狭隘で高層化が必要となり、建設費が高むものと想定されるほか、来客用及び公用車用駐車場を別に確保する必要があります。</p> <p>旧正札立体駐車場は、国の支援を受けながら速やかに解体できるよう地域の皆様や関係機関と協議しているところであり、旧正札竹村本館棟は解体を視野に入れながらも、修繕や改修による一部活用も含め幅広く検討しています。また、近くにあるスカイパーキングも平成31年度をめどに、今後のあり方を見直ししたいと考えています。</p> <p>いただいたご意見を参考にしながら、旧正札立体駐車場解体後の跡地利用や周辺街区の景観形成などを検討してまいります。</p>
85	—	<p>庁舎建設場所は、正札跡地。ここなら街に人を集める有効な役所になりうる。せめて昼の人口が戻ることで、波及効果を生む。その後は民間のやる気がある跡継ぎが動くはず。</p>	

○ 旧小坂鉄道大館駅跡地・JR大館駅前

No.	頁	ご意見	市の考え
86	—	桂城公園及びお堀りを大きく改良し、市民の憩いの場、観光場所とするため現在の所在地周辺での建造は絶対、絶対望まない。大館駅前の小坂鉄道の跡地を希望する。	主要な行政機関や市立総合病院、市営住宅などに近く、古くから街の中心として市民の意識に根付いている場所、各種防災マップ等の検討から局地的被災の可能性が低いと考えられる場所として「現本庁舎敷地及びその周辺敷地」を本庁舎の建設候補地として検討を重ねてきました。
87	—	桂城公園は歴史的遺産として大切にすべき。歴史的な遺産や伝統芸能や自然保護といった面がおろそかにされてきたと思っている。桂城公園の一面に新市庁舎を建設したいという基本方針は、歴史まちづくりとの整合性が充分にとられているとは思われない。よって、鉄道との連絡が良く、交通関係の利便性が増し、同時に大館駅前の再開発と発展につながる、小坂鉄道跡地に建設するのが最適だと思う。大館駅に近くて、また駅前通りを活性化する方が大館のすべての地区の利便性を考慮することになるので、全市民に喜ばれるものになると思う。大町商店街や現庁舎付近の人たちの利便性だけでなく、市民全体の立場に立って物事を進めてほしいと思う。もっと言えば、新庁舎の場所を市民全体の「住民投票」で決めたらどうか。	以上の経緯に加えて、旧小坂鉄道大館駅跡地については、敷地が狭隘で設計の自由度が低く、利用者の駐車スペースも限られることなどから、建設候補地とはなりません。旧小坂鉄道大館駅跡地の利活用については、あきた未来づくりプロジェクトにおける観光交流施設建設に向けて、秋田県や関係団体と協議を進めております。
88	—	庁舎建設場所は、大館駅舎との合築もしくは駅前に他の機能も合わせ持つ施設として単独で建て、田代・扇田から電車で来易いようにして、かつ、駅前の活性化に寄与してほしい。	
89	—	現在の場所ではなく別の場所に移した方が良くと思う。今の場所は公園にした方がもっと、大館が良くなると思う。体育館も古く、解体して別に活用した方が良くと思う。庁舎は、市の顔でもあると思うので駅前の方が良く思う。駅前をもっと賑うようにすれば、大館はもっと発展すると思う。	
90	—	町全体に活気がなくなり特に駅前開発は、どこの駅前にも劣る状態になってしまった。商工会議所と連携し今から何年計画を考え実施してもらいたい。本庁舎については、歴史ある城跡は拡張し、人が集まる立派な城址、いこいのある公園、そして庁舎はなんといっても駅前（雪捨て場）とし、駅前開発と合わせ活気のある町づくりに。	

○ 裁判所敷地

No.	頁	ご意見	市の考え
91	—	裁判所を法務局隣に移転するよう交渉してもらいたい。交渉が成立したら現在の建物を議事堂、市長室、応接室等に活用。前庭の一部をバス停用地として活用。	施設の長寿命化のための工事を施工して間もないことから、困難と考えられます。
92	—	あらゆる関係機関に最大の協力を求め、この計画をいかに実現させられるかだと思ふ。新庁舎の建設場所は、秋田地方裁判所を移転して貰い、その裁判所跡地近辺へ市庁舎を建てる。	

○ 旧ジャスコ跡地

No.	頁	ご意見	市の考え
93	—	南に高い建物（新庁舎）があれば、公園が日影になる。公園は、ゆっくりと人の目を気にせずリラックスできるいこいの場、市役所から丸見えになり、人がいなくなる。せまい土地に公園と市役所を建てるとどちらも中途半端だ。公園は、観光の目玉に。市役所は、広い場所に。（ジャスコ跡地）（避難場所）	用地取得費の負担が発生することなどから、建設候補地とはなりません。

○ ホテルクラウンパレス秋北

No.	頁	ご意見	市の考え
94	—	震災復興、東京オリンピックなどで建設資材、人件費が高騰している中での庁舎新築は行わないでホテルクラウンパレス秋北を買取り、建物をリユースした方がよい。ホテル機能も一部残すと災害時又は山間部に住む独居老人冬期疎開に利用もできる。スカイレストランは市役所食堂として指定管理者運営にする。バスターミナル機能も利用できるし多くのテナントを入れる事もできる。	現に事業展開している法人の資産であり、建築後40年以上が経過している宿泊施設を市役所庁舎に転用する場合には多額の改修費用が見込まれること、今後の利用可能年数の検証が必要であること、敷地外に駐車場を確保する必要があることなどから、本庁舎としての利活用には課題が多いと考えられます。

○ 駐車場に関すること

No.	頁	ご意見	市の考え
95	46	現在の庁舎の駐車場はせまく、不便だったので、駐車場が広くなることはありがたい。	<p>駐車場の不足と狭隘は現在の本庁舎の課題の一つであり、現状（一般来客用約70台）を踏まえて、新庁舎では、集約を予定している福祉部及び産業部や桂城公園来園者の分を加えて、一般来客用として100台、公用車用として50台の計150台分を整備する計画です。1台当たりのスペースは、今よりも広く確保したいと考えています。</p> <p>職員通勤用の駐車場は、新庁舎敷地外に各自で民間駐車場を借り上げることになります。</p> <p>新庁舎の駐車場は、休日等の閉庁時にはこれまでどおり市民の皆様にご利用いただくほか、桂城公園への来園者にもご利用いただけるようにし、大型バスの駐車については今後の設計等で駐車可能台数等の詳細を検討してまいります。</p>
96	46	大館は中心街地内のまとまった公園は桂城公園しかない。市民のやすらぎの場所として大事に考えてほしい。駐車場も大きなイベントのある時以外は誰でもいつでも利用できるスペースを確保してほしい。	
97	46	現在の庁舎の位置と駐車場スペースの比較からして、ゆとりのある駐車場ができるのではないか。	
98	46	今ではどんな小さな小さな町でもそれは凄い庁舎が建ち、駐車場も広々としていて我が市の現在の狭苦しくみすばらしい駐車場を恥ずかしく思う。	
99	46	駐車場は、大型バスが2台ぐらい止められるようにしてほしい。	
100	46	現庁舎は駐車スペースが不足。特に冬期は雪のせいもありさらにせまくなる。改善していただければと思う。	
101	46	駐車場150台は職員を含むのか。将来歴史まちづくりの拠点になって観光バスなどが駐車するようになったら150台は少ない。	
102	46	現在地ではあまりに狭すぎる。それは駐車場150台と書いているが、将来のために500台はほしい。	
103	46	駐車場の確保。老人でもゆっくり停車できる優しい駐車場にと願う。	
104	46	職員の車両や公用車・市民の駐車場は冬場も考え、自走式立体駐車場（50～70台）を視野に入れて計画を望む。	

○ バス停に関すること

No.	頁	ご意見	市の考え
105	46	新庁舎への交通手段に不便を感じている方が多いのではないかと。庁舎前に行くバスを考えてほしい。	<p>庁舎建設に併せたバス停の設置については、設計時に、庁舎及び敷地の形状や道路及び敷地の利用形態によるバス進入の可否等に関し、バス事業者との協議等を踏まえて検討します。</p> <p>ご意見の内容は、今後の地域公共交通のあり方に対するご意見として参考にさせていただきます。</p>
106	46	市立総合病院のように、バスが通る様な所へ作っては。高齢者は車がなかったらいけないでは若い人達と住んでいない人達はどうか。	
107	46	市役所前の市道を拡幅して路線バス停を設置する。	
108	46	交通の便は、どうなるのか。バスターミナルは廃止されたことだし、大町からわざわざ歩かなければならない。他の地区からバスで来る場合も、同じく不便を感じるに違いない。	
109	46	駐車場エリア内に大館市内全線の路線バスと高速バスが停車できるバスターミナルを整備してほしい。	

4. 構造計画

No.	頁	ご意見	市の考え
110	49	設計に必要な問題点が何も示されていない。耐用年数を設定し、可能性のある災害の規模に対する検討が必要。	<p>新庁舎は、長寿命で大地震後でも継続して使用可能な防災拠点施設としての性能を求めます。そのため、耐震安全性の分類を「Ⅰ類：特に構造体の耐震性能の向上を図るべき施設」とし、「免震構造」を基本に計画しています。</p> <p>構造種別については、それぞれの長所、短所を比較検討し新庁舎にふさわしいものを選択します。</p>
111	49	新本庁舎は是非木造としていただきたい。大館には世界に誇る樹海ドームがある。世界最大級の木造建築がある都市にふさわしい庁舎として、表層を木材で飾るのではなく構造として木造が相応しいと思う。コスト面では掛かり増しになるが無駄な装飾を抑えシンプルなデザインとして、断熱性を高めることによるランニングコストの削減も見据えてレガシーを作るつもりで取り組んでほしい。	
112	49	一棟案にこだわらず、防災拠点やデータを守るための免震の施設なども計画したほうがよいと思う。	
113	49	長期間使用する建物となると、時代によって変化が求められるため、フレキシブルな計画とした方がよい。今後の変化の予測も含めて順位を決め、造り込み過ぎないようにする必要がある。	

「第5章 新庁舎の事業手法」に関すること

1. 事業手法

No.	頁	ご意見	市の考え
114	53	地元建築事務所が庁舎建設にあたり、なんらかの形でかかわりができる様配慮をお願いしたい。技術面や知識面でもよい機会と考える。特に若い人にとってはなかなかないチャンス。今後の大館市の建物にもよい影響をあたえらると思う。	設計にあたっては、地元の事業者に参加いただくための仕組みづくりに配慮するとともに、地域特有の技術等を活かした庁舎となるよう情報収集に努めます。
115	53	大館特有の技術や最新技術などもあるのでもっと地元の関係者から情報を得るべき。各団体の意見を聞いてもよいと思う。建設にあたっては、地元のニーズに合ったものが地元で作られるように望む。	

2. 発掘調査について

No.	頁	ご意見	市の考え
116	54	遺跡調査は本来体育館やプール建設の折終わっているべき。	埋蔵文化財の発掘調査については、昭和50年の文化財保護法改正により埋蔵文化財の保護が強化されるようになった後、平成10年に文化庁から「埋蔵文化財として保護すべき遺跡の範囲に関する原則」が都道府県教育委員会に通知されたところであり、これ以後、全国の埋蔵文化財包蔵地で開発行為が行われる際には発掘調査が義務付けられるようになりました。 市民体育館や市民プールは、法による規制前の昭和30～40年代の建築物であり、発掘調査が行われていませんでした。

4. 建設スケジュール

No.	頁	ご意見	市の考え
117	56	この案には大賛同する。市議会の審議を経て、順調に作業工程が進み、早期建設～完成に期待している。	耐震性の不備、施設・設備の老朽化、部署の分散、狭隘、バリアフリーへの対応など現庁舎が抱える諸課題の抜本的な解消、さらには市の財政負担の軽減や財政運営への影響といった様々な観点から検討した結果、国の支援（合併特例債）が受けられる今の時期（平成32年度末まで）に新庁舎を建設することが最良であると考えています。
118	56	ぜひ、計画通りに進めてほしい。	
119	56	全ての構想が基本計画・実施計画・建設と進むわけだが、十分な検証を行い、納得のいく完成を見ることを望む。	
120	56	建設はオリンピック後に行う。人材の不足、慢性的な建築資材の供給不足による労務費の高騰が懸念されるので、資材の確保が安定した時期を待つて建設したほうが良いと思う。	
121	56	移動しないのであれば新庁舎建設には基本的には賛成だが、大館市全体の財政を圧迫するのであれば、まだ先延ばししても良いのではと思う。	

5. 事業費と財源

No.	頁	ご意見	市の考え
122	57	借金はできる限り抑えることが大事。人の金を使うという官庁の拡大意識を排してほしい。	現在の本庁舎（西側）は建築後61年が経過しており、耐震性の不備から、大規模災害発生時に市民の安全・安心を確保するための防災拠点として機能させることが困難です。また、合併後の部署や窓口の分散化やバリアフリー対応の不備により、市民の皆様にご不便をおかけしています。 このような状況を一刻も早く解消し、将来にわたり安心して市役所を利用していただくことができるよう、本庁舎建設基本計画の策定に取り組んでいます。 本庁舎建設事業を進めるにあたっては、将来の人口減少を見据え、平成52年度までの期間、可能な限り分庁舎を利用し続けることを前提として新庁舎の面積、事業費を見込んでおり、大館市総合計画、中期財政計画のもと、大規模事業の集中を避けるとともに地方債の償還など後年度負担にも十分に留意し、健全な財政運営を堅持してまいります。
123	57	本庁舎等整備基金17億5千万円は何を財源にするのか。すべて市民の税金だのみはやめてほしい。	
124	57	現行の市庁舎は老朽化が著しく利便性や安全性に問題がある様に思う。特に西側は築約60年ほど経過しており、今後市政業務を遂行する上で支障が出るであろう事は自明の理だ。合併特例債の締切期限が5年延長された事は市にとっては追い風であり、これを機に良い市庁舎が建つことを願う。	

その他 基本計画(案)以外に関すること

1. 桂城公園の整備について

No.	頁	ご意見	市の考え
125	—	桂城公園はもっと桜の木を植えて公園らしくきれいに。5月の秋田犬展覧会は広々と優雅に見せたらどうか。	いただいたご意見を今後の事業実施の参考とさせていただきます。
126	—	今、桂城公園にある樹木は、切らないでほしい。	
127	—	公園拡大エリアの一部を公用車や職員の駐車場として利用すべき。	
128	—	公園は旧大館城を可能な限り復元し、お堀、和風園を造成し、市民の憩いの場を作ってもらいたい。庭木等は市民に提供を呼びかけるといくらでも協力する。	本庁舎建設にあたり隣接する桂城公園の一体的な整備を行うことを計画しており、今後、本庁舎の設計プロポーザルを行う際は、解体が見込まれる市民プール跡地の公園としての整備方法などについても、本庁舎の建物の設計と併せて専門事業者から提案を受けることを検討しています。 また「堀や城の復元」は、国が認めるに値する歴史的な史実を確認できる文献や写真、図面がないと国費の支援が得られない中で、本市にはその資料が極めて乏しい現状です。そのため、今後の「歴史的風致維持向上計画」の策定を進めて行く中で、市の施策における優先順位や事業費等を勘案しながら、事業実施に関する市民の皆様のご意見を伺ってまいります。
129	—	公園の整備について、体育館及び武道館の建設以前の公園を復元（お堀はプールから武道館まで復元）したらいと思う。	
130	—	公園は歴史街づくりで手をかけるなら、堀の完全復活をしていただきたい。堀の場所に無理して庁舎を建てず、庁舎建設後50年間の街の活性化に貢献する場所に建設してほしい。	
131	—	公園整備として、大館城の復元や歴史館等も計画設計する。お堀をもう少し拡張する。桜の木を植樹していく。秋田犬会館への橋を拡張する。	
132	—	市民課の建物を入館料を税収とする博物館、資料館、美術館などにはどうかと思う。武道館の改築、若しくは体育館を改装し、その設備を館城にして観光的多目的な面を持ち合わせ拠点とされればいいと思う。設備は常に美化、清掃して税収に結びつく様お願いする。	

2. その他のご意見

No.	頁	ご意見	市の考え
133	—	市役所の人員が多すぎないか。何をしているのか分からない職員が多々見受けられ、本当に仕事をしているのかと思う時がある。今回事業費を多くかけ、新設され、ろくな仕事もしていない職員に高い給料を支払ってでは考えてしまう。安心して大館市民として誇れる親しまれる新庁舎になることを強く願っている。建物ではなく働く人達の心に期待する。	いただいたご意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。
134	—	できれば案内係だけでなく、全職員が市民や県内外から来た人に、すぐ正しくこたえられるように責任感を持って応接してほしい。	
135	—	大型店中心の分散した街より、商店街の再構築に誰かが中心となってプロジェクトを組む必要があると思われる。大手資本による大型店進出により、力のない小売店は苦境に立たされている。もちろん各小売店の努力も必要だろうが、行政からの大きな方向性があれば、各小売店も同じ方向を向いて少しは前に進めると思う。まずは街を形成するための雛形が必要だ。	
136	—	プールを移動する話も聞くが、どうせ作るなら全国大会を開催出来るような物を作ってほしい。今までの大館は中途半端では。たとえば、長根山陸上競技場、長根山野球場があるが、大きな大会が開けず、プロもつれてこれないと聞く。どうせ金をかけるならその点も考えてほしい。	
137	—	市民プールを、大会等ができるよう、屋内プールにしてほしい。場所は、桂城公園内に。今の場所近辺に作ってほしい。	
138	—	中心部にプールがなくなるのは不便。子供が遊べる所をもっと増やしてほしい。(弘前ヒロロ、鹿角のコモッセのような)	

139	—	長根山大型駐車場隣接斜面につつじ、さつき等を植え、公園美化してほしい。つつじ、さつき類は市民に協力をよびかけると多数提供はいると考える。もてあましている人はたくさんいる。
140	—	小学校卒業まで放課後学童施設の拡充を大多数の保護者が望んでいる。
141	—	現在は、全体的に市が暗く、防犯上もよくない。長木川側道橋の街灯が1年以上も前から球切れしている。桂桜高校もできるし、現在も生徒の通学路が暗く、防犯上悪い。現在の市の街並みも注視してほしい。
142	—	未舗装道路の舗装やデコボコ道路が多すぎる。県外から来た人は全国一道路が悪いと言って帰る。マンホールも路面より高すぎたり低すぎたり。
143	—	働く場所、子供を預ける場所、そのための施設や人の確保に金を使ってほしい。高校まで何人でも学費無償なら、子供を3人作る人が増えて、人口減少に歯止めがかかるし、街の活力が上がるだろう。